

シラバス

科目名	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		
担当教員	竹中健		
配当年次	2 年次	開講時期	1 学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2 単位
準備事項			
備考			

【授業のねらい】

- ①包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解する。
- ②地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。

【授業の展開計画】

1. 地域社会の変化と多様化、複雑化した課題について理解する
2. 地域共生社会の構築と支援体制の課題について考察する
3. 包括的支援体制の考え方・展開について理解する
4. 地域包括ケアシステムの考え方・展開について理解する
5. 生活困窮者自立支援制度を理解し、支援過程の方法について考察する
6. 地域共生社会の実現に向けた支援体制について考察する
7. 地域共生社会の実現に向けた他機関協働の仕組みについて理解する
8. 地域共生社会の実現に向けた多職種連携の実際について理解する
9. 福祉と産業界との関わりについて考察する
10. 地域福祉のガバナンスの考え方と他機関協働の必要について考察する
11. 包括的支援体制の課題と展望について考察する
12. 地域住民が参加できるプラットフォーム形成と運用について考察する
13. 災害時における法制度・避難計画について理解する
14. 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について考察する。
15. まとめ

【履修上の注意事項】

地域福祉と包括的支援体制Ⅰの理解のうえに本講義を行うため、1学期の地域福祉と包括的支援体制Ⅰを履修しておくこと。また、講義に際しては、教科書の該当箇所を事前に最低30分は学習するとともに、できれば講義の後にも講義内容の再確認を行うこと。

【評価方法】

講義内で実施する5回のミニテストの結果（各回100点満点：合計500点満点）をもとに総合的に判定する（100%）。

【テキスト】

新・社会福祉士養成講座 6 『地域福祉福祉と包括的支援体制』社会福祉士養成講座編集委員会編集、中央法規出版を使用する。

【参考文献】

- 1) 参考書については、必要に応じて授業の中で提示する。
- 2) 講義の都度、必要な資料を配布する。